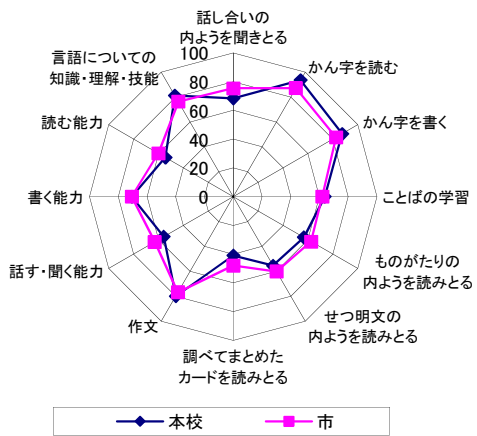


宇都宮市立新田小学校 第3学年【国語】問題の内容別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度	
		本校	市
問題の内容別	話し合いの内ようを聞きとる	68.4	75.4
	かん字を読む	93.5	87.2
	かん字を書く	87.5	82.5
	ことばの学習	63.6	62.0
	ものがたりの内ようを読みとる	56.7	62.5
	せつ明文の内ようを読みとる	55.4	60.3
	調べてまとめたカードを読みとる	40.9	48.0
	作文	79.9	76.8
観点別	話す・聞く能力	55.8	63.0
	書く能力	70.5	70.6
	読む能力	54.5	60.2
	言語についての知識・理解・技能	81.1	76.3



★指導の工夫と改善

問題の内容	本年度の状況	今後の指導の重点
話し合いの内ようを聞きとる	・宇都宮市の平均正答率と比べ、7%下回っている。大まかな話の内容は捉えることができていますが、話し手の考えにせまる問題や、話し方の工夫に至るまでの質問においては正答率が低く、更なる指導が必要である。	・話の聞き方については、日常の中で大切なことを落とさず聞けるような態度を身に付けさせていく。更に、自分なりの考えを持って話を聞き、質問を考えたり、話を上手に伝えるために発表の仕方を工夫したりできるような指導に努める。
かん字	・宇都宮市の平均正答率と比べ、5%以上高い。小問別に見てみると、「漢字の読み」よりも、「漢字の書き」の方が正答率が低かった。習った漢字を日常的に使う習慣を身に付けさせてきたが、更に指導していく必要がある。	・引き続き、毎日漢字練習に取り組ませる。常に辞書を身近に置き、意味などが分からなかったらすぐに調べる習慣をつけさせる。
ことばの学習	・宇都宮市の平均正答率と比べ、「国語辞典の使い方」は、6.1～8.8%上回っているが、「ローマ字の読み方」は2.6%、「漢字のへん」は5.8%下回っている。	・「ローマ字」については、学習プリントなどを活用し、繰り返し指導していく。パソコンのキーボーレッスンなども効果的に活用する。 ・「漢字のへん」については、漢字の学習の際、一緒に確認する活動などを通して習熟を図る。
ものがたりの内ようを読みとる	・宇都宮市の平均正答率と比べ5.8%下回っている。小問別では、登場人物の気持ちを読み取ることはできているが、場面の移り変わりを読み取ったり、文章のあらすじを要約したりすることが不十分だった。	・さらに読書指導や音読指導の充実を図る。また、教科書教材を通して語句を大切に扱い、文章に即して内容や情景、心情を読み取れるようにする。 ・場面に即した登場人物の気持ちの変化を自分なりの言葉でまとめていくような学習を取り入れる。
せつ明文の内ようを読みとる	・平均正答率は55.4%で、宇都宮市と比べると5.8%下回っている。小問別に見ると、細かい点に注意して、文章を読み取ることはできるが、文と文のつながりを考えたり、文章の要点に注意したりしながら文章を読み取ることが不十分である。	・教科書教材を段落ごとに内容をまとめたり、文章に即して読み取ったりする指導に力を入れる。さらに、接続詞に着目して段落の構成を考えられるように指導する。
調べてまとめたカードを読みとる	・宇都宮市の平均正答率と比べて、7.1%下回っている。資料を正しく読み取る、また、読み取ったことを適切な言葉を用いて話すということが不十分である。	・教科書教材を中心に、書かれていることを正しく読み取ったり、書かれている内容について、適切な言葉を用いて話せるよう指導していく。
作文	・宇都宮市の平均正答率を3.1%上回っている。指定された文字数や段落数に注意してきちんと書くことはできたが、書こうとするものの中心を明確にしたり、理由を挙げて詳しく書いたりという点で課題が残った。	・授業の教材のみならず、行事や特別活動等の事後指導として作文を書く機会を多く持たせ、文章の書き方の指導をしていく。